

旧	新
<p>3 構造改革特別区域の範囲 相模原市の<u>区域の一部</u>（旧相模原市）</p> <p>4 構造改革特別区域の特性 本市は、神奈川県<small>の北西部に位置し、都心から30km～60km圏にある、横浜市、川崎市に次ぐ県内第3番目の中核都市である。</small> 主要な道路については、首都圏の交通と物流等の基幹的な機能を担う国道16号（東京環状線）と神奈川県を南北に貫く国道129号が接続するとともに、中央自動車道及び国道20号が北西部を通り、今後、さがみ縦貫道路の開通に伴うインターチェンジの開設が予定されている。また、鉄道については、J R横浜線・相模線・中央線、小田急線、京王線が通っており、本市域は県央地域における交通の要衝となっている。 昭和30年代から人口流入が著しく、東京都市圏のベッドタウンとして全国的にも稀にみる人口急増により、平成17年度末までに62万人の人口を抱え、J R横浜線及び小田急線の駅を基点に中心市街地を形成してきた。 平成18年3月には津久井町及び相模湖町と市町村合併し、来る平成19年3月には城山町及び藤野町とも合併することとなり、水源地であり自然豊かな津久井郡4町との合併により、市域の約6割が森林を占め5つの湖を内包するなど、人口70万人有余の、市街地と水源地域の両面を持った新相模原市として新たなまちづくりを進めるところである。</p>	<p>3 構造改革特別区域の範囲 相模原市の<u>全域</u></p> <p>4 構造改革特別区域の特性 本市は、神奈川県<small>の北西部に位置し、都心から30km～60km圏にある、横浜市、川崎市に次ぐ県内第3番目の中核都市である。</small> 主要な道路については、首都圏の交通と物流等の基幹的な機能を担う国道16号（東京環状線）と神奈川県を南北に貫く国道129号が接続するとともに、中央自動車道及び国道20号が北西部を通り、今後、さがみ縦貫道路の開通に伴うインターチェンジの開設が予定されている。また、鉄道については、J R横浜線・相模線・中央線、小田急線、京王線が通っており、本市域は県央地域における交通の要衝となっている。 昭和30年代から人口流入が著しく、東京都市圏のベッドタウンとして全国的にも稀にみる人口急増により、平成17年度末までに62万人の人口を抱え、J R横浜線及び小田急線の駅を基点に中心市街地を形成してきた。 平成18年3月には津久井町及び相模湖町、平成19年3月には城山町及び藤野町と合併したことで、水源地であり自然豊かな津久井郡4町との合併による、市域の約6割が森林を占め5つの湖を内包するなど、人口70万人有余の、市街地と水源地域の両面を持った新相模原市として新たなまちづくりを進めるところである。</p>

旧	新
<p>4 特定事業の内容</p> <p>(1) 経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画</p> <p>以下の講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理推進機構(IPA)に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。</p> <p>【学校法人湘南ふれあい学園 総合電子専門学校】</p> <p>①基本情報技術者試験対策講座(Aコース) 履修計画:別添資料2のとおり</p> <p>②基本情報技術者試験対策講座(Bコース) 履修計画:別添資料3のとおり</p> <p>(2) 修了認定の基準</p> <p>民間資格を取得するための試験である「情報処理技術者能力認定試験(2級)」を受験し、合格並びに第1部科目合格した者であって、当該講座の80%以上の出席をもって履修した者について、修了認定に係る試験を受験できる有資格者と定める。</p> <p>有資格者に対し、当該試験を実施し、株式会社サーティファイが定める合格基準を満たした者について、修了を認定する。また、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が提供する問題を使用して修了認定に係る試験を実施した場合は、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の定める合格基準を満たした者について、修了を認定する。</p> <p>(3) 修了認定に係る試験の実施方法</p> <p>修了認定に係る試験については、株式会社サーティファイが作成し、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の審査によって認定された問題、または独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が提供する問題を使用して、当該試験を実施する。</p> <p>経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画の終了後に2回まで、修了認定に係る試験を実施することができるものとする。</p> <p>また、試験会場は当該講座が開設される場所とし、試験の採点事務は、適用を受けた事業者が行う。ただし、適用を受けた事業者が認めた場合にあつては、この事務を指定した者に代行させることができる。</p> <p>なお、告示で定めるところにより、適用を受けた事業者は当該の試験結果に基づいて講座の修了を認められた者の氏名、生年月日に関する情報を当該民間資格の取得を証する写しと併せて独立行政法人情報処理推進機構(IPA)に通知するものとする。</p>	<p>4 特定事業の内容</p> <p>(1) 経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画</p> <p>以下の講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理推進機構(IPA)に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。</p> <p>【学校法人湘南ふれあい学園 総合電子専門学校】</p> <p>基本情報技術者試験対策講座(Bコース) 履修計画:別添資料2のとおり</p> <p>(2) 修了認定の基準</p> <p>民間資格を取得するための試験である「情報処理技術者能力認定試験(2級)」を受験し、合格並びに第1部科目合格した者であって、当該講座の80%以上の出席をもって履修した者について、修了認定に係る試験を受験できる有資格者と定める。</p> <p>有資格者に対し、当該試験を実施し、株式会社サーティファイが定める合格基準を満たした者について、修了を認定する。また、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が提供する問題を使用して修了認定に係る試験を実施した場合は、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の定める合格基準を満たした者について、修了を認定する。</p> <p>(3) 修了認定に係る試験の実施方法</p> <p>修了認定に係る試験については、株式会社サーティファイが作成し、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の審査によって認定された問題、または独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が提供する問題を使用して、当該試験を実施する。</p> <p>経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画の終了後に2回まで、修了認定に係る試験を実施することができるものとする。</p> <p>また、試験会場は当該講座が開設される場所とし、試験の採点事務は、適用を受けた事業者が行う。ただし、適用を受けた事業者が認めた場合にあつては、この事務を指定した者に代行させることができる。</p> <p>なお、告示で定めるところにより、適用を受けた事業者は当該の試験結果に基づいて講座の修了を認められた者の氏名、生年月日に関する情報を当該民間資格の取得を証する写しと併せて独立行政法人情報処理推進機構(IPA)に通知するものとする。</p>

(4) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目

資格名称:情報処理技術者能力認定試験(2級)

試験科目:情報処理技術者能力認定試験(2級第1部)

当該民間資格を取得するための試験の試験項目:表に示すとおり

試験項目	
1	情報の基礎理論
	基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算、符号理論
	状態遷移、グラフ理論、オートマトンと形式言語
	計算量と情報量
2	データ構造とアルゴリズム
	データ構造、アルゴリズムの基礎
	流れ図、決定表、BN 記法、ポーランド記法
	各種アルゴリズム、アルゴリズムの効率
3	ハードウェア
	半導体と集積回路
	プロセッサ、動作原理
	メモリ、記憶媒体、補助記憶装置
	入出力インタフェース、入出力装置、接続形態・接続媒体
	コンピュータの種類と特徴

(4) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目

資格名称:情報処理技術者能力認定試験(2級)

試験科目:情報処理技術者能力認定試験(2級第1部)

当該民間資格を取得するための試験の試験項目:表に示すとおり

試験項目		
テクノロジ系	1	基礎理論
	1	基礎理論
		基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算など
		確率と統計、数値解析、数式処理、グラフ理論など
		符号理論、述語論理、オートマトン、計算量など
		伝送理論(伝送路、変調方式、誤り検出・訂正など)
	2	アルゴリズムとプログラミング
		データ構造(スタックとキュー、2分木、リストなど)
		流れ図の理解、アルゴリズム(整列、探索、併合など)
		プログラム構造、データ型など
		プログラム言語(種類と特徴など)
	2	コンピュータシステム
	3	コンピュータ構成要素
		コンピュータの構成、動作原理、プロセッサなど
		主記憶、キャッシュメモリ、半導体メモリなど
		補助記憶装置や媒体(種類と特徴、性能計算など)
		入出力インタフェース(種類と特徴など)
		入出力装置(種類と特徴、性能計算など)
	4	システム構成要素
	システムの利用形態、システム構成など	
	クライアントサーバシステム、RAID など	
	システムの性能、信頼性、経済性など	
5	ソフトウェア	
	オペレーティングシステム(タスク管理、記憶管理など)	
	ミドルウェア(API、ライブラリ、シェルなど)	
	ファイルシステム(ディレクトリ、ファイル編成など)	
	言語処理ツール(コンパイラ、リンカ、ローダなど)	
	CASE、エミュレータ、シミュレータなど	
6	ハードウェア	
	基本論理回路、組合せ回路など	

4 基本ソフトウェア	
	OSの種類と構成
	プロセス管理、割込み制御
	主記憶管理、仮想記憶
	入出力制御、ジョブ管理
	ファイル管理、障害管理
	ヒューマンインタフェース、日本語処理
	ミドルウェア
5 システム構成と方式	
	システム構成方式、処理形態
	システム性能、信頼性
	応用システム
6 システム開発と運用	
	プログラム構造、制御構造
	プログラム言語、言語処理系
	EUC、EUD、ソフトウェアの利用
	開発手法、設計手法、テスト手法
	システムの環境整備、運用管理
7 ネットワーク技術	
	プロトコルと伝送制御
	符号化と伝送技術
	LANとインターネット
	電気通信サービス
	ネットワーク性能
	伝送媒体、通信装置
	ネットワークソフト

テク ノ ロ ジ 系	3 技術要素
	7 ヒューマンインタフェース
	GUI、帳票設計、画面設計、コード設計など
	8 マルチメディア
	オーサリングツール、JPEG、MPEGなど
	9 データベース
	データベースのモデル、DBMSなど
	データ分析、データベースの設計、データの正規化など
	データ操作、SQLなど
	排他制御、障害回復、トランザクション管理など
	データウェアハウス、データマイニングなど
	10 ネットワーク
	インターネット（各種プロトコル、IPアドレスなど）
LANとWAN（トポロジ、回線、DSU、モデムなど）	
LANのアクセス制御方式、LAN間接続装置など	
OSI基本参照モデル、HDLC、ネットワーク性能など	
ADSL、FTTH、CATV回線、イントラネットなど	
11 セキュリティ	
暗号技術、認証技術、利用者確認など	
ウイルスの種類と特徴、ウイルス対策など	
不正アクセス、不正侵入、不正行為の種類と対策など	
マ ネ ジ メ ン ト 系	4 開発技術
	12 システム開発技術
	業務分析と要件定義（DFD、E-R図、UMLなど）
	モジュール分割と独立性、オブジェクト指向など
	構造化プログラミング、コーディングなど
テスト手法、レビュー手法、デバッグツールなど	
13 ソフトウェア開発管理技術	
ソフトウェア開発手法（スパイラルモデルなど）	
SLCP、リバースエンジニアリングなど	
5 プロジェクトマネジメント	
14 プロジェクトマネジメント	
コスト見積り（ファンクションポイント法など）	
日程計画（アローダイアグラムなど）	
進捗管理、品質管理、コスト管理など	
6 サービスマネジメント	
15 サービスマネジメント	
ITIL（サービスサポート、サービスデリバリなど）	
コンピュータの運用・管理、システム移行など	

8 データベース技術	データベースモデル
	データの分析・正規化
	データ操作
	データベース言語、SQL の利用
	DBMS の機能と特徴
	データベース制御機能 (排他制御、リカバリ)
9 セキュリティ	セキュリティ対策
	プライバシー保護
	ガイドライン
10 標準化	情報システム基盤の標準化
	データの標準化
	標準化組織
11 情報化と経営	経営管理 (経営戦略、組織と役割、マーケティングなど)
	情報化戦略 (業務改善など)
	IE 分析手法、管理図
	確率と統計
	最適化問題、意志決定理論
	情報システムの活用 (ビジネスシステム、企業間システムなど)
	関連法規 (情報通信、知的財産権)

ストラテジ系	7 システム戦略
	17 システム戦略
	業務プロセス (業務改善、BPR、SFA など)
	8 経営戦略
	19 経営戦略マネジメント
	経営戦略手法 (コアコンピタンス、PPM など)
	マーケティング理論、マーケティング手法など
	経営管理システム (CRM、SCM、ERP など)
	21 ビジネスインダストリ
	ビジネスシステム (POS システム、EOS など)
	エンジニアリングシステム (CAD、CAM、MRP など)
	e-ビジネス (EC、EDI、RFID など)
	9 企業と法務
	22 企業活動
	経営組織 (事業部制組織、CIO など)
	ヒューマンリソース (OJT、CDP、MBO など)
	経営管理と問題発見技法 (PDCA、KJ 法など)
	OR・IE (線形計画法、品質管理、在庫問題など)
	会計・財務 (財務会計、管理会計、リースなど)
23 法務	
知的財産権 (著作権、産業財産権など)	
ガイドライン (ソフトウェア管理ガイドラインなど)	
標準化団体 (JIS、ISO、IEEE など)	
各種コード (文字コード、QR コード、ISBN コードなど)	
補助単位 (T、G、M、k、ミリ、マイクロ、ナノ、ピコ)	